

第1回 森のようちえん保育セミナー

自然保育における「こどもの豊かさ」とはなにか

森のようちえん実践者、集まれ！

1人1人のこどもの様子に応じて毎日を紡いでいく森のようちえんの保育に正解はありません。日々の保育の質を高めるため、実践者が学びを深め合う場に集いませんか？



日時：2020年2月9日(日)

10:30～16:30(10時受付開始)

会場：森のようちえん めーぷるキッズ

(神奈川県横浜市都筑区中川中央1-39-37)

対象：森のようちえん実践者、保育・教育に携わる方、
自然保育に興味のある方 30名(先着順)

3組の森のようちえん実践者による保育実践発表および研究者による考察、両者の対談を行なった後、参加者同士でのディスカッションを行います。

【当日スケジュールと発表担当者】

10:00 受付開始

10:30 セミナー① 関山 隆一(もあなキッズ自然楽校)

11:30 昼食

12:30 セミナー② 京井 麻由(野外保育ゆたか)

酒井真由子(上田女子短期大学)

14:10 セミナー③ 小林 成親(山の遊び舎はらぺこ)

山口 美和(上越教育大学大学院)

15:50 全体セッション

参加費

一般 6,000円

ネットワーク会員 5,000円

参加申込

メールの件名に「森のようちえん保育セミナー」と記載し、以下の内容をお送りください。

- 1 氏名
- 2 所属
- 3 連絡先
- 4 メールアドレス

申し込み お問い合わせ先

NPO 法人森のようちえん全国ネットワーク連盟 調査・研究委員会

chousa-kenkyu@morinoyouchien.org



主催：NPO 法人森のようちえん全国ネットワーク連盟

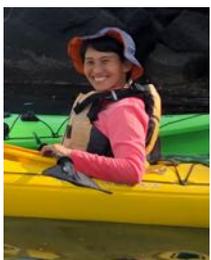
協力：NPO 法人もあなキッズ自然楽校

発表者プロフィール



関山隆一

1998年ニュージーランドに渡り国立公園にて現地ガイドとして働く。その後パタゴニア日本支社を経由し、2004年に帰国後アウトドアオペレーターの事業を立ち上げ、2007年NPOもあなキッズ自然楽校設立。森のようちえんや自然体験活動を通して、長期的な子育て支援環境の確立及び地域に根差した実践を行っている。現在、NPO法人森のようちえん全国ネットワーク連盟 副理事長。田園調布学園大学大学院 人間学研究科子ども人間学専攻修士課程修了、東京都市大学 人間科学部児童学科 非常勤講師



京井麻由

2008年よりだっこひもおんぶひもの製造販売を行う企業に勤務しながら、環境教育を行うNPOに所属しスタッフとして主に幼児対象プログラムに携わる。2015年仲間とともに静岡県では初の日常型森のようちえん「野外保育ゆたか」を開園。未来を担う子ども達の今に寄り添う意味を考へつつ未熟な自分に向き合う日々。

2019年よりNPO法人森のようちえん全国ネットワーク連盟理事



酒井真由子

信州大学教育学部教育実践学専攻卒業 東京学芸大学大学院教育学研究科学校教育専攻修士課程修了 長野県長野養護学校、聖ヶ丘教育福祉専門学校、洗足こども短期大学、秋草学園短期大学を経て、現在は上田女子短期大学幼児教育学科准教授。専門は教育学、教育社会学



小林成親

長野県の大きな山の麓の小さな村の小さな小さな公立保育園に14年間勤務した後、保護者と共に「山の遊び舎はらぺこ」を立ち上げる。それから15年。ますます子どもの世界は奥深いと感じる今日この頃。NPO法人森のようちえん全国ネットワーク連盟理事



山口美和

信州大学大学院教育学研究科修了(修士(教育学))、東京大学大学院教育学研究科博士課程在籍中。平成26年度「信州型自然保育認定制度」の創設にかかわったことをきっかけに、身近な自然との関わりを通して、子どもの主体的な体験を育む幼児教育・保育(「自然保育」)の研究にも携わる。現在は上越教育大学大学院准教授。専門は教育哲学・教育臨床学。

会場のご案内

森のようちえん めーぷるキッズ

神奈川県横浜市都筑区中川中央 1-39-37

【電車でお越しの方】

横浜市営地下鉄ブルーラインで「センター北駅」下車
徒歩5分